

# 認知症になっても 安心して暮らせる那須町へ

町では、「誰もが安心して暮らせるまち」を目指し、  
認知症とともに笑顔で過ごせるよう、さまざまな取り組みを行っています

## 認知症の高齢者 更なる増加が予測

町の高齢化率(65歳以上の割合)は、41・82%(令和4年9月2日時点)であり、増加傾向にあります。高齢化が進む現在、認知症の方もさらに増加すると予測されており、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるとも言われています。

認知症は「脳の病気が原因で日常生活に支障が生じている状態」とされ、誰でもなる可能性がある身近なものです。

## 認知症には早期発見・ 早期治療が大切

認知症は、人によって状態が大きく異なります。

軽度認知障害(MCI)という、認知症と診断される前段階では、早期に治療を始めることで正常に戻る可能性があります。また、認知症と診断を受けても、適切な治療をすることで、進行が緩やかになることも考えられます。

本人だけでなく、家族や身近な人が異変に気付いた時に、受診をするとよいかもしれません。

認知症を正しく理解し、早期に対応することが必要です。

## 認知症での不安や悩み お気軽に相談窓口へ

町では、認知症に関する各相談窓口に、認知症地域支援推進員による「よりそい隊」を配置しています。認知症の方やそのご家族からの相談を受け、必要な情報を提供し、必要な各機関へつなぐ役割を持っています。

ご自身やご家族等、認知症に関しての不安や悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

## 那須町にある 認知症への対応策

### ● 認知症ケアパス

「認知症になったら」「認知症に備えるには」など、認知症に関するさまざまな情報が載っている「認知症ケアパス」があります。各相談窓口(13頁参照)に設置してありますので、ぜひお手にとってみてください。

### ● おかえりサポート

認知症の方が外出して自宅に帰れなくなった際に、早期に発見するための取り組みです。

ご本人の情報や緊急連絡先を町へ登録し、警察と地域包括支援センターで情報を共有します。行方不明になった際には、町から見守り協力事業所にも情報を提供し、早期発見につながります。登録をご検討ください。

## 家族がつくった 「認知症」早期発見のめやす

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中の目安として参考にしてください。  
いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみることがよいでしょう。

もの忘れが  
ひどい

- 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
- 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6. 新しいことが覚えられない
- 7. 話のつじつまが合わない
- 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった
- 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10. 慣れた道でも迷うことがある

人柄が  
変わる

- 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- 12. 周りへの気づかひがなくなり頑固になった
- 13. 自分の失敗を人のせいにする
- 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が  
強い

- 15. ひとりになると怖がり寂しがったりする
- 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17. 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲が  
なくなる

- 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

認知症の電話相談 (通話無料)

☎ 0120-294-456 (10:00~15:00 土日祝を除く)

携帯・スマホからは 050-5358-6578 (要通話料)

47都道府県の支部の連絡先など  
詳細はホームページをご覧ください

家族の会

検索



公益社団法人  
認知症の人と家族の会